

高齢者タクシー料金助成事業の検証について（進捗報告）

令和3年8月6日の令和3年度第1回犬山市高齢者保健福祉事業推進委員会の質疑において、犬山市が実施している「高齢者タクシー料金助成事業」について様々な意見をいただきました。

同事業については、令和4年度に現在の事業の検証を行い、検証の結果、見直しの必要があれば、令和5年度に改正できるよう事務を進めていく予定ですが、委員会でも「一歩でもいいので前に進んだなど見える形で進めていただきたい。」とのご意見もあったことから、その進捗を報告いたします。

8月の委員会以降、事業の検証のために

1. 他市の高齢者タクシー助成事業の状況（令和2年度実績）の調査
2. 事業見直しに係る必要額のシミュレーション

を行いました。

1. 他市の高齢者タクシー助成事業の状況（令和2年度実績）の調査について

愛知県内及び全国の先進自治体の事業実績を調査しました。

各市の事業設計が異なるため、一概に比較することは難しいですが、「チケット枚数等」について1乗車で使用できる枚数が多い等、条件が緩和されるほど、実際の「チケット利用率」が高くなるという傾向がありました。

	チケット枚数等	チケット利用率
北名古屋市	10枚/500円券 <u>1乗車につき2枚まで</u>	42.9%
岡山県笠岡市	住民税 非課税者 48枚/500円券 課税者 24枚/500円券 <u>1乗車につき1人2枚まで</u>	47.3%
栃木県那須塩原市	70枚/500円券 <u>1乗車につき10枚まで</u>	67.0%

（資料2・別添 1. 他市の状況についてより抜粋）

2. 事業見直しに係る必要額のシミュレーションについて

1で調査した、チケットの「交付率」や「チケット利用率」を参考にして、事業の必要額を算出しました。

まず、令和4年度当初予算計上額の範囲内で、利用枚数の制限をなくして、金券化（300円券）しようとする場合は、現行制度と比べて1人当たり12,300円相当の減額が見込まれます。

令和4年度当初予算計上額の範囲内で、1乗車2枚まで利用可として、金券化（600円）しようすると1人当たり9,600円相当の減額が見込まれます。

	チケット枚数等	必要額 (円)	交付想定 人数(人)	交付率	交付枚数 (枚)	利用枚数 (枚)	チケット 利用率	備考
A. 利用枚数の 制限なし	15枚/300円券	9,450,000	3,000	90%	45,000	31,500	70%	現行制度と比較すると、 1人当たり12,300円相当の 減額
B. 1乗車2枚まで	12枚/600円券	9,720,000	3,000	90%	36,000	16,200	45%	現行制度と比較すると、 1人当たり9,600円相当の 減額

(資料2・別添 2. タクシー助成事業の見直しに係るシミュレーション ①現行予算の範囲内より)

次に、現行制度と同程度の金券（300円券）を配布し、利用枚数の制限をなくした場合、想定予算額の約3.6倍となる3,528万円の予算が必要となります。

現行制度と同程度の金券（600円券）を配布し、1乗車2枚までの利用可とした場合、想定予算額の約2.3倍となる2,268万円の予算が必要となります。

	チケット枚数等	必要額 (円)	交付想定 人数(人)	交付率	交付枚数 (枚)	利用枚数 (枚)	チケット 利用率	備考
C. 300円券 制限なし	56枚/300円券	35,280,000	3,000	90%	168,000	117,600	70%	想定予算額の約3.6倍の 予算が必要
D. 600円券 1乗車2枚まで	28枚/600円券	22,680,000	3,000	90%	84,000	37,800	45%	想定予算額の約2.3倍の 予算が必要

(資料2・別添 2. タクシー助成事業の見直しに係るシミュレーション ②現行制度の最大助成金額を維持より)

また、85歳以上の人口推計は令和17年度にピークを迎え、令和2年度の3,121人から5,255人に増加する見込みのため、対象人口の増加にあわせた事業設計が必要となります。(資料2・別添 3. 85歳以上の人口推計)

今後の予定ですが、3月下旬に発送する令和4年度高齢者タクシー助成事業の更新申請書の裏面にあるアンケートで利用者の声や、3月22日に開催する高齢者地域ケア・生活支援推進協議会の移動支援検討部会で高齢者の外出支援の視点から委員に意見をいただき、事業検証の参考とさせていただきます。